

ひびきあい

学校教育目標
「やさしく かしく たくましく
自分のよさを生かして
未来を創ろうとする子ども」
の育成

令和8年6月19日 校長 重松 景二

愛でいっぱい、学びでいっぱい、遊びでいっぱいの学校にする
アップデートしよう（未来を創る子どもたちのために）

梅雨になりましたが これからでしょうか…

曇り空でも蒸し暑く感じる日が続いています。梅雨の時期は、雨が降ってなくても何となく気分が晴れず、調子が上がらないこともあります。

それでも、子供たちは雨が降らなければ中休みや昼休みに外へ出て、元気いっぱいに遊んでいます。その姿や楽しそうな声に触れると、下向きになりがちな気持ちも吹き飛び、こちらまで元気をもらいます。

先日、朝、急に雨が降ることがありました。私は校門であいさつをして

いたのですが、あいにく傘を持っていませんでした。すると、4年生の女の子が自分の傘を差し出して、「どうぞこれ使ってください。」と言ったのです。私は、「いいよ、運動場を通る間に濡れるよ。」と言って断ったのですが、「走っていくからいいです。」と傘を渡して、走り去っていきました。その何気ない行動に、優しさや思いやりの心が育っていることを感じ、とてもうれしくなりました。そして、このような子供の姿に触れ、本校が目指す「愛でいっぱいの学校」に確実に近づいていることを実感しました。



今週末からは雨の日も多くなるようで、本格的な梅雨の季節を迎えそうです。外で遊べない日も増えますが、室内での過ごし方を自分たちで工夫しながら、安全に、そして楽しく過ごしてほしいと思います。雨の日ならではの楽しみを見つけながら、梅雨の時期を元気に乗り切ってほしいものです。

気持ちいいね この時期の楽しみ…

先週から今週にかけて、学年ごとにプール開きが行われました。すべての学年の様子を見ることはできませんでしたが、どの学年でも、プールを使用する際の注意事項や水遊び・水泳学習のめあてを確認していました。その後は学年の実態に応じて、模範泳を見たり、渦巻きをつくったり、自由に水に親しんだりしながら活動を楽しんでいました。水の中では体が軽く感じられますし、ふ



わりと浮く感覚には独特の心地よさがあります。また、暑い季節には冷たい水が気持ちよく感じられることでしょうか。これから約5週間、水泳学習が続きます。水に慣れることから、長く泳げるようになることまで、一人一人が自分に合っためあてをもち、その達成に向けて取り組んでいきます。泳ぐことが苦手な子は少しでも泳げるように、泳げる子はさらに上達できるように、それぞれが自分の成長を実感できる水泳学習になってほしいと思います。



きれいになりました おかげさまで…

水泳学習を始めるために、プール掃除を行いました。例年は6年生だけで行っていますが、今年は5・6年生が全校を代表して取り組みました。長い間使用していないプールはかなり汚れていましたが、見違えるほどきれいになりました。おかげで気持ちよく水泳(水遊び)の学習を行うことができています。

